

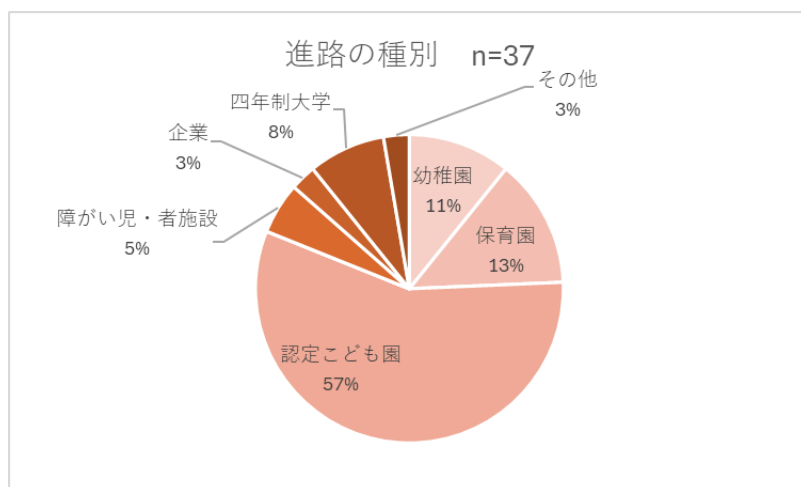
2022 年度卒業生へのアンケート

1. 調査の概要

実施時期	2023 年 10 月 1 日～2024 年 8 月 31 日
対象	2023 年 3 月卒業生 91 名（一部 2023 年以前の卒業生も含む）
アンケートの目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業生および卒業生の就職先からの意見を教育の改善・向上に反映させるため。 ・ 卒業生からの情報を収集し、定着支援を行うため ・ 卒業生からの情報を収集し、学生の就職支援につなげるため
調査方法	2023 年 3 月卒業生に対して Google フォームによる回答、アンケート用紙による回答を実施
質問項目	アンケート時点での就職先の種別 職場で頑張っている要因 大学で学んだことが仕事に活かされているかなど
回答者数	37 名

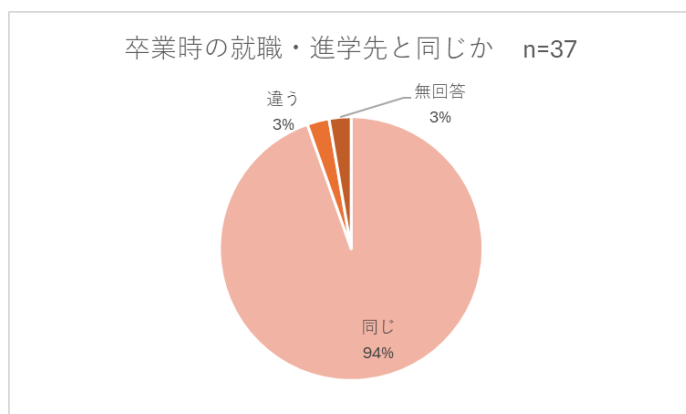
2. アンケート調査結果

(1) 進路の種別について



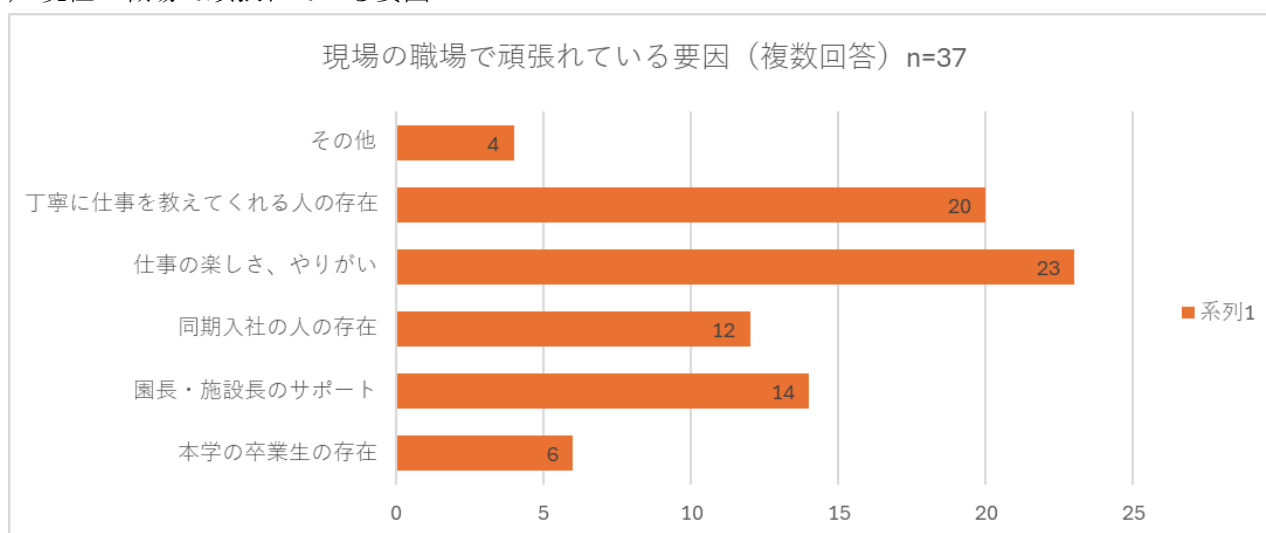
現在勤めている就職先の種別についての回答は、「幼稚園」11%、「保育園」13%、「認定こども園」57%、「障がい児・者施設」5%、「企業」3%、「四年制大学」8%であった。

(2) 卒業時の就職・進学先の変更有無



現在勤めている就職先が卒業時の就職・進学先と同じかどうかの質問に対して、「同じ」と回答した卒業生が94%と最も多く、次いで「違う」3%であった。

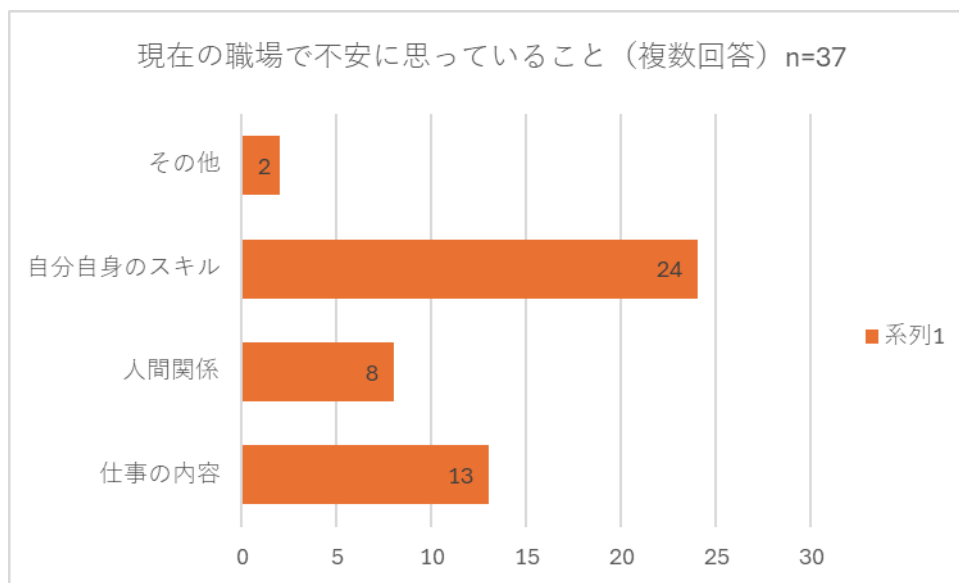
(3) 現在の職場で頑張れている要因



現在の職場で頑張れている要因についての回答は、「仕事の楽しさ、やりがい」が最も多く、次いで「丁寧に仕事を教えてくれる人の存在」、「園長、施設長のサポート」、「同期入社の人存在」、「本学の卒業生の存在」、「その他」であった。

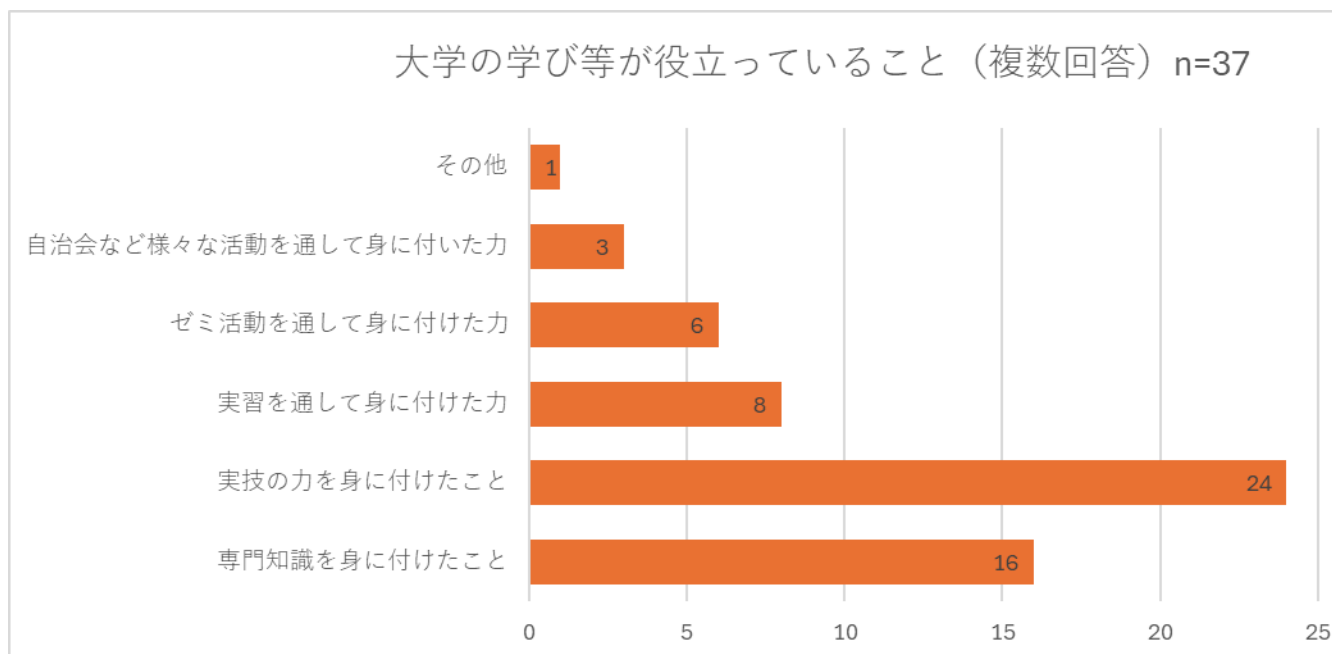
「その他」には、「子どもたちの笑顔」、「家族や周りの人の応援」、「子どもたちが可愛い」、「人間関係が良く自分の性格とも良く合ってる職場だと感じた。」と回答している。

(4) 現在の職場で不安に思っていること



現在の職場で不安に思っていることについての回答は、「自分自身のスキル」が最も多く、次いで「仕事の内容」、「人間関係」、「その他」であった。

(5) 大学の学び等で役立っていること



大学の学び等で役立っていることについての回答は、「実技の力を身につけたこと」が最も多く、次いで「専門知識を身につけたこと」、「実習を通して身につけた力」、「ゼミ活動を通して身につけた力」、「自治会など様々な活動を通して身につけた力」、「その他」であった。

(6) 現在の状況やメッセージなど

<自由記述>

- ・とても良い園に就職できてよかったです。
- ・大阪千代田短期大学で学んだことを活かしているので卒業して良かったと思っています。
- ・しんどいこともたくさんある分、子ども達の成長や保護者の方からの感謝の言葉を頂いたりと本当にやりがいがありますので、後輩の皆さんも頑張ってもらいたいと思います。
- ・4月はじめはとても辛い、働きたくないと考えていましたが、今は少しずつ子どもたちと向き合えるようになり楽しいと感じれるようになりました。失敗等はまだ沢山ありますが、地道に頑張っていきたいと思います。先生方にも色々相談や報告等がしたいので訪問をしてくださるととても嬉しいです。
- ・昨年は1歳児、今年は5歳児の担任をしています。去年とは違い年長児ということもあり、責任感や仕事量が一気に増えました。しかし、その分やりがいを感じられています。周りの先生方に助けられ、頑張っています。
- ・社会に出たら楽しいことだけでなく、辛い思いもするかもしれません。けれどその時間はいつか自分に必要な材料になると思うので乗り越えてほしいです。その先には必ず幸せな出来事が起こると私は思っています。
- ・PDCAのPが苦手です。大学の授業で時間の使い方や計画の立て方などを学ぶ授業があればいいなと思います。
- ・実習やボランティアなどを通して実際に体験してから就職先を決めることが大切だと感じました。
- ・職場の環境や人間関係の良さは働きやすさに繋がっていると思います。
- ・2年目も頑張ります。
- ・大変なことも多く責任も大きい仕事ですが、保育士になれて良かったと思っています。
- ・これから保育士をめざし、なりたいと思える学生さんが増えることを願い、毎日仕事に励んでいこうと思います。
- ・学生の時にしか学べないこともあると思いますので頑張ってください。
- ・大変なこともあるけど毎日楽しく働かせてもらっています。頑張ります。
- ・就職活動中は保育関係に就職するか迷っていましたが、今はここで就職して良かったと思っています。
- ・逃げ出したくなることもありますが、子どもたちのおかげで毎日楽しく過ごせています。
- ・3年目にしてやりがいも感じてきました。
- ・実習や実践授業など不安や苦手だと思っている人も多いと思いますが、現場でも活かされていくので楽しみながら頑張ってもらいたいと思います。
- ・大阪市内で職場をお探しの場合、是非うちに！

3. 調査結果を踏まえた分析

- ・保育・幼児教育施設の就職割合が高く、86%の卒業生が取得した資格を活かして働いている。
2023年3月卒業生の81%が保育・幼児教育分野で就職したことが分かる。特に、認定こども園への就職率57%となっており、保育士資格と幼稚園免許の取得が求められている。学生の進路や就職でのサポートにおいては、同時取得を目指すように指導する必要がある。「障がい児・者施設」に就職

した学生は全体の 5%となっており、保育士資格や幼稚園免許を活かして働いている卒業生は 86% になっている。また、四年制大学へ編入した学生は、全体の 8%であり、教育・福祉分野の四年制大学に編入している。

- ・入職後の離職者が 3%

離職者が 1 割以内に留まっている。今後も、就職先訪問をしたり、学生の相談に応じたりして、卒業生のサポートを行っていく必要がある。また、在学中から就職面談や相談、実習などを通して、学生自身の進路選択について自ら考え、進路決定するように指導していくことが大切である。卒業後のサポートを様々な機会を通じて行っているため、そのサポートが大切なことがわかる。

- ・卒業生が職場で頑張っている理由に「仕事の楽しさ、やりがい」が最も多い回答であった。自由記述に「実習やボランティアなどを通して実際に体験してから就職先を決めることが大切」と回答している通り、1 回生の夏休みから実習や就職を意識して積極的にボランティア活動をするように促していることや、学生自身が色々と悩む中でも最後は自分で進路選択するように指導していることが就職後の「仕事の楽しさ、やりがい」に繋がっていると考えられる。

次いで「丁寧に仕事を教えてくれる人の存在」となっており、卒業生に対して温かく指導して頂いている状況が伺える。本学の卒業生が一生懸命がんばろうとしている姿勢が職場からのサポートを引き出している結果とも考えられる。

- ・職場で最も不安に思っていることは「自分自身のスキル」

クラス担任をもったり、保育補助に頼ることが出来なかつたりするなど、自分自身のスキルに不安を感じているのは、保育の責任を持つ自覚が芽生えてきた表れと捉えることが出来る。卒業後半年以上の期間が経っていることを考えれば、ピアノや保育技術、保護者対応などのスキルに不安をもつことは当然だと言える。職場における研修も期待されるが、本学の指導内容に活かすため、今後はどのようなスキルが求められるのかも把握する必要がある。